

「不易流行」

くよき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって、

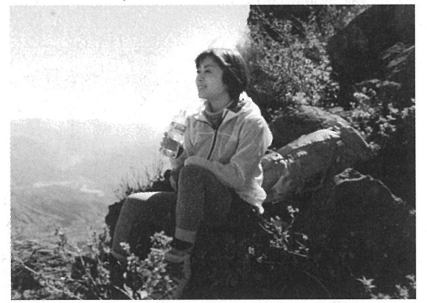
「理想」を創造する」

「奥大山と

宇多田ヒカルさん」

4年に1度の町議会議員選挙が行われ、議会の構成が決まりました。江府町が抱える多くの課題を一つひとつ着実に解決し、未来につながるまちづくりを、協働して進めていきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

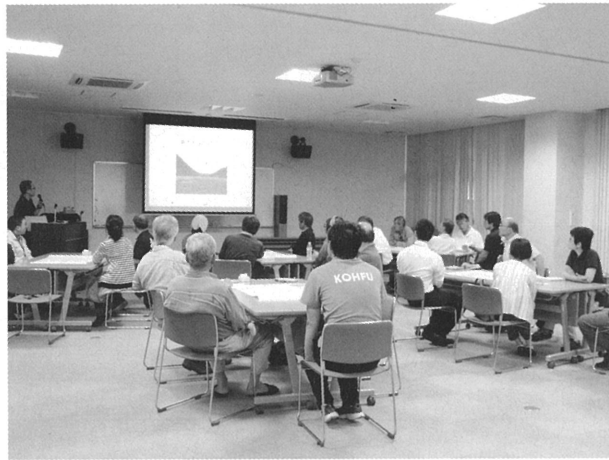
さて、先月の中旬からサントリー天然水奥大山のコマーシャルが全国で放映されています。世界的なアーティストの宇多田ヒカルさんが起用され、奥大山のもつ雄大な景色と、清らかな水、そして、それを育む手付かずの自然の良さが十分にアピールされたのではないかと思います。宇多田さんがこのコマーシャルを意識しながら作られた新曲「大空で抱きしめて」も、とても素晴らしい曲です。このコマーシャルが流れ始めてから、全国にいる江府町出身者か



▲宇多田さん！また奥大山江府町にいらしてください！

ら、「嬉しい！」「ありがたい！」「信じられない！」と多くの喜びの声が届きました。地元にいると気がつかないかもしれませんが、全国で「奥大山」、そしてその素晴らしい映像が流れる、しかも、宇多田ヒカルさんが、その自然の中にいるということ、はとても誇らしいことなんです。伯耆国「大山開山1300年祭」を来年に控え、この機会をうまく捉えて、全国の人に奥大山・江府町のことを知り、訪れ、美味しいものを食べていただく。町外に出られた出身者の方も含め、多くの方に奥大山・江府町のファンになっていただけるような仕掛けづくりをしていきたいと思えます。もうすぐ、江尾十七夜も始まります。今年の山車のテーマに今回の出来事を取り上げられる集落も多いのではないかと、今から楽しみにしているところです。

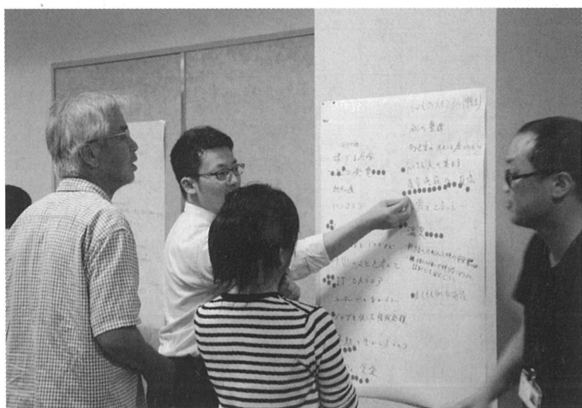
「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム報告



▲各グループに分かれてワークショップを行いました

6月9日(金)、今年度初開催となる3000人の楽しい町プロジェクトチームの公開会議を開催しました。今回はなんと30名以上の住民さんに参加いただくことができました。とてもうれしかったです。

今回のテーマは「親しみやすい庁舎をみんなで考えよう」役場庁舎を使って、町を楽しくするには「です。新庁舎は町民のみなさんにとってどうあるべきなのか、みなさんとワークショップをしながら掘り下げていきます。



▲共感できる意見にシールを貼り、みんなで共有しました

庁舎については「たくさんの方が集まる交流スペースや複合施設にしてほしい」、「景観を生かした庁舎」、「エコ発電の庁舎」などたくさんの方の意見をいただきました。その他にもいまの役場で経験した不便・困ったことも意見をいただきました。職員一人一人の丁寧な対応も新庁舎に向けての課題だと思えます。今後はみなさんからいただいた意見をさらに掘り下げながら親しみやすい庁舎について第2回、第3回と公開会議を続けていく予定です。次回以降もぜひご参加ください。

動画で町報こうふ!



以前の報告会の様子は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。